

青少年交换来日学生研修会 3地区合同オリエンテーション報告

青少年交換委員会

委員長 **金本 恒二郎**
(大阪天王寺RC)

隣接する3地区(D-2660、D-2640、D-2680)では、各地区間の交流やコスト削減のために、一昨年より3地区合同で来日学生へのオリエンテーションを実施しています。今回は、第2680地区(兵庫県全域)青少年交換委員会のお世話により、9月25日(土)～26日(日)に姫路北部にある書写山圓教寺で実施されました。

圓教寺は千年以上の歴史あるお寺で、天台宗の比叡山延暦寺、大山寺と並ぶ三大修行場の1つで「西の比叡山」とも呼ばれる古刹です。今日では、姫路市内の小中学生達の殆どが林間学舎として利用しているそうです。また、2003年公開のハリウッド映画「ラストサムライ」(トムクルーズ、渡辺謙が共演)の主なロケ地に利用されたことでも有名です。

そのような霊験あらたかな雰囲気にも包まれた地に、3地区の来日学生全員(20名)を含むローテックス、ロータリアン達延べ約65名が集合して、2日間にわたる研修等が始まりました。

初日は、第2680地区ガバナー柴田整宏様、同地区委員長白井務子様のご挨拶の後、記念撮影、常行堂(重要文化財)舞台での居合道と空手道の見学があり、夕食後は、地区別に分かれてのオリエンテーションがありました。来日学生達は、目前で披露される日本伝統武道の迫力と素晴らしさに皆が驚嘆していました。

地区別のオリエンテーションでは、海外派遣経験のあるローテックスメンバーが中心になり、車座になって来日から約1か月経過した時点での悩みや問題等を尋ね、ローテックスやロータリアンからのアドバイスや討論を通じて、日本の習慣や日本人の意識や考え方への理解を深めてもらうとともに、学校や家庭での日常生活に順応し

てもらふこと、溜まったガス抜きをすることを目的としております。また、ホストファミリーとの信頼関係を円滑に形成・維持してもらえよう、第三者であるローテックスやロータリアンからのアドバイスや指導を行いました。来日学生は皆それぞれ、納得、満足したり、意識を新たに今後生活に熱い意欲を示していました。

2日目は、6時40分から摩尼殿で朝のお勤めに参加し、朝食後は常行堂での座禅体験とお説法、大講堂(重要文化財)内の見学・説明、食堂(重要文化財)内の見学がありました。

朝のお勤めでは読経の流れる中で荘厳な雰囲気を味わえ、座禅体験では少しでも無の境地に浸ることができたものと思われます。また、食堂内に展示された数々の由緒ある展示品にも皆見入っていました。

昼食後、書写山を下山してからは、姫路歴史博物館を見学し、好古園で日本庭園を散策し、続いて“平成の大改修”中ならではの姫路城(世界遺産、国宝)骨格部分の見学を英訳ボランティアガイド付きで行いました。

このように、いずれも日本文化に縁の深いものばかりを、しかも盛り沢山にこなすという、とても意義深い2日間のオリエンテーションでした。午後4時過ぎ、姫路城を後にし、皆無事に帰路につきました。

最後に、この紙面をお借りして、この度お世話になりました第2680地区の皆様に対し、心より御礼と感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。本当に有り難うございました。次年度は、我が第2660地区の担当になりますが、2年連続の素晴らしいプログラムに、若干のプレッシャーと強い意欲を感じている次第です。

